

## 基本 目標 2

# 安全

もっと、暮らしに安全・安心を

頻発・激甚化する気象災害、切迫する巨大災害への対応など、「災害に強い県土づくり」とともに、「安心して生活・移動できる環境づくり」に取り組みます。

また、県民の暮らしや社会経済活動を支える「社会資本の戦略的な維持管理・更新」を推進します。

### 政策 3 災害に強い県土づくり

施策 1 災害時の避難のサポート 【予算額】 468,814 千円※

施策 2 災害防止対策 【予算額】 6,799,010 千円※

施策 3 災害時にも機能する社会資本・体制整備 【予算額】 3,627,757 千円※

施策 4 災害時の孤立防止対策 【予算額】 424,000 千円※

### 政策 4 安心して生活・移動できる環境づくり

施策 1 交通事故防止対策 【予算額】 4,153,605 千円※

施策 2 バリアフリー推進 【予算額】 3,646,826 千円※

施策 3 中核的医療施設へのアクセス向上 【予算額】 15,078,676 千円※

### 政策 5 社会資本の戦略的な維持管理・更新

施策 1 社会資本の長寿命化対策 【予算額】 9,365,397 千円※

施策 2 効率的な社会資本の維持管理 【予算額】 8,787,609 千円※

※施策ごとの予算のため重複する場合があります。

### 政策 3

### 災害に強い県土づくり

災害に強い「安全」な県土づくりを進めるとともに、災害時の被害を最小減にとどめるための備えを万全にし、県民の命と暮らしを守ります。

#### 施策 1

#### 災害時の避難のサポート

【予算額】

468,814 千円

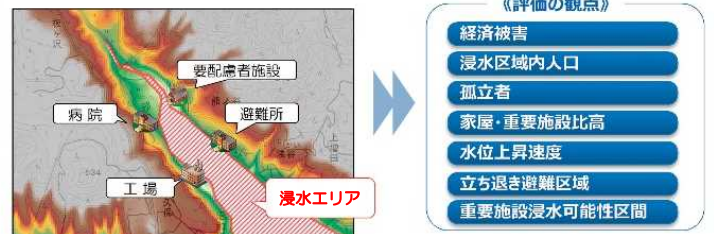
##### (1) 水害や土砂災害による危険な場所を周知

水害や土砂災害による危険な場所を周知し、市町村の避難計画作成を支援します。



##### (2) 県内全河川を対象にした水害リスク調査の活用

県管理の全428河川の水害リスクを調査し、市町村に情報提供を行い、減災対策に役立てます。



##### (3) 「減災対策協議会」における取組

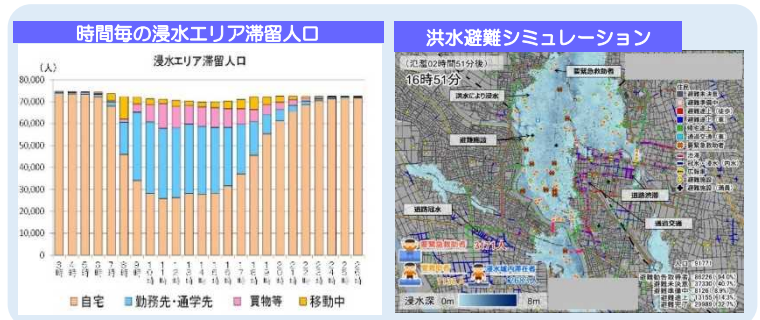
減災目標を共有し、各機関の取組方針を定め、進捗状況のフォローアップを行います。

#### 《検討・実施項目》

- ハザードマップの見直し支援
- 重要水防筒所の見直しによる監視強化
- 水害タイムラインの作成
- 市町村長へのホットラインの構築
- 河川監視カメラの整備と画像配信
- 洪水を安全に流下させる対策（堰かき等）

##### (4) 避難を支援するためのパーソントリップ調査の活用

PT調査で明らかになった住民分布を用いて、洪水時の避難行動を分析し、避難方策を検討します。



##### (5) 防災力を高める人材育成

住民の意思で適切な避難ができるよう、防災意識向上や知識習得に向けた取組を進めます。



##### (6) 要配慮者利用施設への避難支援

自力避難が困難な方の円滑な避難に向け、市町村と連携し避難計画策定や避難訓練実施を支援します。



##### (7) 円滑な避難行動を支援する防災情報の発信

市町村の避難勧告発令の判断や住民の避難行動を支援するため、わかりやすい防災情報の提供など「住民目線のソフト対策」を推進します。



##### (8) 火山噴火に対する住民避難の支援

噴火時における住民の円滑な避難をサポートするためのソフト対策に取り組めます。



## ●水害や土砂災害による危険な場所を周知

### 【洪水浸水想定区域の見直し・公表】

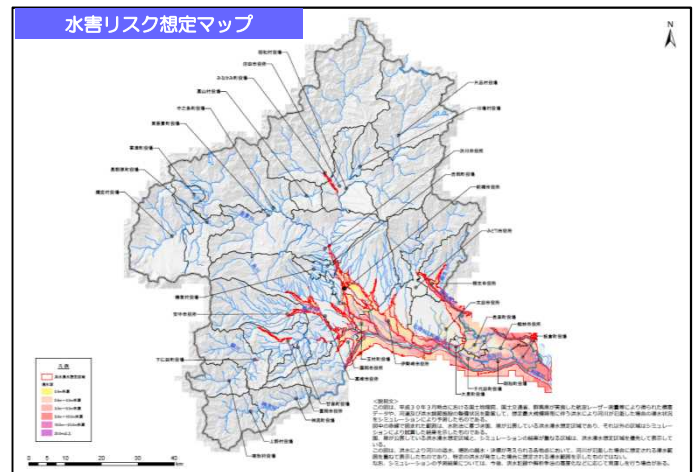
平成30年度は適川の水位周知区間の見直しを行います。

### 【土砂災害計画区域等の見直し・公表】

13市町村で土砂災害警戒区域等の見直しのための基礎調査を実施し、結果を随時公表します。

## ●県内全河川を対象にした水害リスク調査の活用

水害リスク調査結果を基に作成した「水害リスク想定マップ」を5月に公表し、流域市町村と水害リスク情報を共有するとともに、減災対策協議会における取組に活用します。



## ●「減災対策協議会」における取組

水害リスク想定マップに基づき、主要19河川を含む428河川全ての県管理河川について減災に関する取組方針を決定します。また、県内35市町村とのホットラインを構築するなど、引き続き減災対策に関する取組を進めるとともに、新たな取組として危機管理型水位計の整備を追加します。

## ●避難を支援するためのパーソントリップ調査の活用

複数市町村にまたがる広域避難のモデル地区を選定し、洪水時の避難シミュレーションを行い、広域避難の課題と対応方を検討します

## ●防災力を高める人材育成

### 【洪水対応演習、合同点検の実施】

洪水時の情報伝達を確実にを行うため、関係機関による洪水対応演習を実施します。また、洪水時に地域住民が自ら危険を察知し自主的に避難できるよう、地域住民と関係機関が参加する重要水防箇所の合同点検を実施します。

### 【住民が主体となった防災マップの作成・避難訓練の実施支援】

市町村へ土砂災害・防災等の専門家を派遣し、住民が主体となって土砂災害に係る防災マップの作成及び避難訓練等を行うことで、地域の防災力向上を支援します。

## ●要配慮者利用施設への避難支援

### 【土砂災害警戒区域】

渋川市と桐生市の要配慮者利用施設を対象に、土砂災害に係る避難計画の策定を支援します。

### 【洪水浸水想定区域】

洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の位置情報については、水害リスク想定マップを基に主要19河川以外の河川にも拡大し市町村に提供するとともに、避難計画作成を支援します。

## ●円滑な避難行動を支援する防災情報の発信

### 【危機管理型水位計の設置】

近年の豪雨による中小河川での被災を受け、浸水の恐れがあり水位計が未設置の河川について、避難判断のための危機管理型水位計の設置を進めます。

平成30年度は配置計画を検討し、185箇所程度を設置します。

### 【土砂災害警戒情報】

土砂災害警戒情報の発表基準を見直し、情報の精度向上を図ります。また、住民にわかりやすい防災情報の提供のためシステムの改修を行います。



(1) 水害対策

近年被害が発生した地域、人口・資産が集中する地域等において、河川改修や調整池整備、堤防強化等を推進します。



(2) 土砂災害対策

土砂災害による被害を軽減させる砂防堰堤、がけ崩れ防止施設等の整備および堆積土除去を推進します。





● 水害対策

【河川改修】

人家等の水害による被害を軽減するために、川幅を上げたり、堤防をつくります。

- ・一級河川 寺沢川（前橋市）
- ・一級河川 利根川（伊勢崎市～玉村町）
- ・一級河川 井野川（高崎市）
- ・一級河川 休泊川（大泉町～太田市） ほか



【調整池整備】

人家5198戸の水害による被害を軽減するために、洪水を貯留する調節池をつくります。

- ・一級河川 石田川 調節池整備（太田市）



【堤防強化】

人家等の水害による被害を軽減するために、調査により脆弱であると判断された堤防を強化します。

- ・一級河川 蛇川 堤防強化（太田市）

● 土砂災害対策

【土石流対策】

人家、高齢者施設等の土砂災害による被害を軽減するために、砂防堰堤をつくります。

- ・堀谷戸沢（高崎市）
- ・中井沢（みどり市） ほか



【かけ崩れ対策】

人家、保育園、避難所(小学校)等の土砂災害による被害を軽減するために、擁壁や防護柵をつくります。

- ・千原地区（南牧村）
- ・西久方町一丁目1地区（桐生市） ほか



今年度のトピックス

- ・一級河川烏川 河川改修（高崎市） H30年度事業着手
- ・一級河川新堀川ほか 河川改修（館林市、邑楽町） H30年度事業着手
- ・奈女沢 土石流対策（みなかみ町） H30年度事業着手
- ・新田之沢 土石流対策（みなかみ町） H30年度事業着手

事業の効果



一級河川 休泊川 河川改修

～整備前～

大雨の時は周辺道路の高さまで水位が達します。



～整備後～

水があふれないよう川幅を広げています。



西久方町一丁目1地区 かけ崩れ対策

～整備前～

豪雨等により、かけが崩れる危険があります。



～整備後～

擁壁や防護柵により、崩れた土砂を受け止めます。



### 施策3

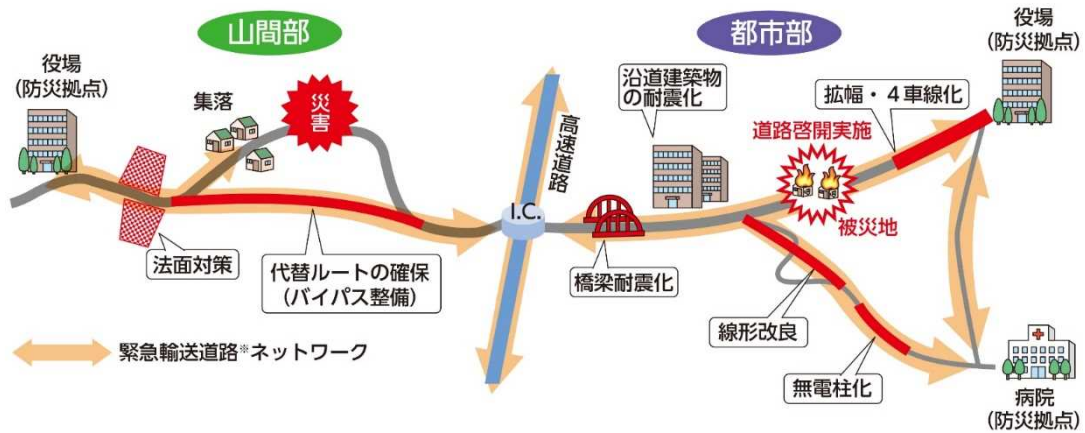
## 災害時にも機能する社会資本・体制整備

【予算額】

3,627,757 千円

### (1) 緊急輸送道路ネットワークに基づく災害に強い道路整備・管理体制の構築

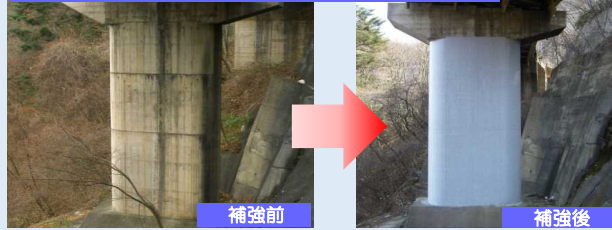
大規模な災害に対して円滑な避難や迅速な救命救助、復旧復興を可能にするため、緊急輸送道路ネットワークに基づく災害に強い道路整備を推進します。



無電柱化の例 (国道254号：富岡市)

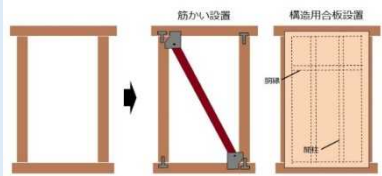


橋梁耐震化の例 (国道254号11号橋：下仁田町)



### (2) 災害に強い住まいづくり

市町村と協調して、耐震改修費用の一部を補助することにより、住宅の耐震化を促進します。



木造住宅耐震化の例



耐震改修費用の一部を補助することにより、耐震診断義務づけ建築物、病院、福祉施設の耐震化を促進します。

大規模建築物耐震化の例



### (3) 災害に強い都市づくり

土地区画整理事業などの施行により、道路、公園等の都市基盤を整備し、避難・延焼遮断空間を確保するとともに、倒壊・焼失の危険性が高い老朽建築物の更新を促進することで、防災機能の向上を図ります。

土地区画整理



### (4) 災害発生に備えた人的支援体制整備

大規模災害時に、県内外の被災地に適時適切に職員を派遣できる体制を整備するとともに、災害派遣業務に必要な研修を実施し、職員のスキルアップに努めます。

研修状況 (机上模擬査定)



研修状況 (現地模擬査定)



派遣先での活動状況 (熊本地震)





● 緊急輸送道路ネットワークに基づく災害に強い道路整備・管理体制の構築

【落石対策】

地震や豪雨時の落石等による道路寸断を防止するために、斜面の補強や道路を崖から離す整備を行います。

- ・ 国道353号 村上工区（渋川市）
- ・ 国道120号 菅沼工区（片品村）
- ・ 国道292号 草津工区（草津町）

【無電柱化】

地震時の電柱倒壊による道路寸断を防止するために、電線類を地中化します。

- ・ 県道前橋館林線 本町工区（太田市）
- ・ 県道一本木平小井戸安中線 安中工区（安中市）
- ・ 県道藤岡本庄線 藤岡工区（藤岡市）

【橋梁耐震化】

地震時の橋の破損による道路寸断を防止するために、橋脚の補強や落橋防止構造を設置します。

- ・ 県道伊勢崎本庄線 広瀬大橋（伊勢崎市）
- ・ 県道前橋大間々桐生線 粕川橋（前橋市）
- ・ 県道境島村今泉線 豊受橋（伊勢崎市）ほか

● 災害に強い住まいづくり

【木造住宅の耐震化】

市町村と協調して、個人の木造住宅の耐震改修又は耐震シェルター設置に対して補助します。

【大規模建築物の耐震化】

耐震義務付け建築物、病院、福祉施設の耐震化に対して、費用の一部を補助します。

【住宅の部分的な耐震化】

住宅の耐震化促進のために、住宅全体の耐震改修に加え、部分的な耐震改修及び耐震シェルターの普及を促進します。

● 災害に強い都市づくり

【土地区画整理事業の推進】

伊勢崎駅周辺第一地区（伊勢崎市）  
尾島東部地区（太田市）ほか

● 災害発生に備えた人的支援体制整備

平成30年度「災害派遣チーム」を編成し、緊急時に備えるとともに、災害派遣業務に必要なスキルを習得するための「災害特別研修」を開催します。



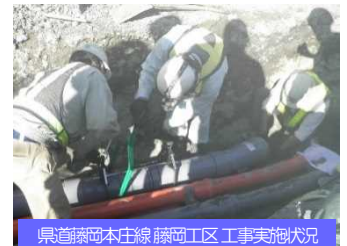
国道353号 村上工区 工事実施状況



国道120号 菅沼工区 工事実施状況



県道一本木平小井戸安中線 安中工区 完成区間



県道藤岡本庄線 藤岡工区 工事実施状況

事業の効果



県道前橋館林線(本町工区) 電線共同溝

～整備前～

地震時に電柱が倒れ、道路の寸断の恐れがあります。



～整備後～

電柱がなくなることで、安全な通行空間を確保します。



イメージ

県道境島村今泉線 豊受橋 橋梁耐震化

～整備前～

地震時に橋が破損し、道路の寸断の恐れがあります。



橋の接続部

～整備後～

橋を補強し、緊急時の通行を確保します。



落橋防止構造

(1) 道路防災対策

中山間地域の生活幹線道路が土砂崩壊などにより寸断し、長期にわたり集落が孤立しないよう、道路防災対策を実施します。

落石対策の例（県道会場鬼石線：藤岡市）



(2) 暮らしを支える道路整備

中山間地の拠点や集落を結び、住民の暮らしを支える安全な道路整備に取り組みます。

現道拡幅の例（県道上藤生大州線：桐生市）





● 道路防災対策

【道路寸断防止のための落石対策の推進】

地震や豪雨時の落石等による道路寸断を防止するために、防護柵を設置します。

- ・ 県道法師吹路線 永井工区（みなかみ町）
- ・ 県道小根山森林公園線 横川工区（安中市）
- ・ 国道401号 片品工区（片品村）

県道法師吹路線 永井工区



現在の状況

●暮らしを支える道路整備

【安全な通行空間確保のための現道拡幅】

通行車両の安全な通行空間を確保するために、車と車がすれ違ふことが困難な区間において、道路の拡幅を行います。

- ・ 県道上発知材木町線 透門橋工区（沼田市）
- ・ 県道下仁田臼田線 砥沢工区（南牧村）
- ・ 県道小根山森林公園線 2期工区（安中市）

県道上発知材木町線 透門橋工区



現在の状況



県道下仁田臼田線 砥沢工区



現在の状況

○今年度のトピックス

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| 国道299号砥根平トンネル整備（上野村）   | H30年度完成予定 |
| 国道299号 榎原工区現道拡幅（上野村）   | H30年度完成予定 |
| 県道下久屋渋川線 宮田工区現道拡幅（渋川市） | H30年度完成予定 |

事業の効果



県道法師吹路線 永井工区 落石対策

～整備前～

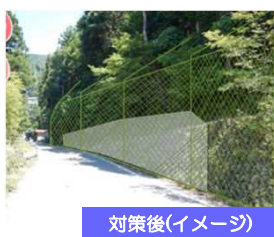
斜面に転石や浮石があり、危険な状態。



危険な斜面

～整備後～

転石固定や斜面の補強により安全な通行空間を確保します。



対策後(イメージ)

県道上発知材木町線 透門橋工区 現道拡幅

～整備前～

道路幅が狭く、カーブが連続し、すれ違いが困難な状況。



道路幅狭小・線形不良

～整備後～

対向車と安全なすれ違いができる道路になります。



道路幅拡大・カーブ減少

## 政策 4

## 安心して生活・移動できる環境づくり

子どもや高齢者、障害者など、誰もが安全で安心して暮らせるよう、交通事故の防止に向けた環境整備を進めるとともに、バリアフリーの推進や、安心して医療を受けられる環境づくりに取り組めます。

### 施策 1

### 交通事故防止対策

【予算額】 4,153,605 千円

#### (1) 子どもたちが安心して通学できる環境の整備

学校や警察等の関係機関や地域住民と連携し、通学路等の点検や点検結果を踏まえた歩道整備を推進します。



#### (2) 交通死亡事故対策

車両の速度抑制対策や、夜間歩行中の視認性向上、交通安全教育を実施します。



#### (3) 交通人身事故対策（自動車事故）

危険性が高い交差点付近や生活道路の安全性向上を図るため、事故多発箇所や危険箇所の改善、生活道路への通過交通の流入抑制に取り組めます。



#### (4) 交通人身事故対策（自転車事故）

安全な自転車通行空間を確保するため、矢羽根型路面表示の設置や自転車通行帯の確保、無電柱化等を実施します。





## ●子どもたちが安心して通学できる環境の整備

## 【歩道整備】

以下の工区において、児童や生徒が安心して通学できるよう歩道を拡げます。

- ・ 県道渋川下新田線 下津(上津第3)工区 (みなかみ町)
- ・ 県道高崎神流秩父線 神保工区 (高崎市)
- ・ 県道川内堤線 堤町工区 (桐生市)
- ・ 県道長久保郷原線 上増田工区 (安中市)
- ・ (都) 赤城山線 (前橋市) ほか



## ●交通死亡事故対策

## 【速度抑制対策】

車両の速度を抑制するため、車の通行幅を狭める「狭さく」を設置します。

- ・ 県道長久保郷原線 原市工区 (安中市)

## ●交通人身事故対策 (自動車事故)

## 【交差点付近における交通事故防止対策】

交差点において、横断歩行者と車両の事故の注意喚起を促す看板を設置します。

- ・ 県道前橋大間々桐生線 事故対策 (前橋市)

交差点付近において、追突事故防止のため「路面標示とタップライン」を設置します。

- ・ 国道462号 事故対策 (伊勢崎市)
- ・ 県道戸鹿野下之町線 事故対策 (沼田市)

## 【交差点改良】

交差点付近での事故を抑制するため、交差点の形状を改善します。

- ・ 県道前橋伊香保線 伊香保交差点 交差点改良 (渋川市)
- ・ 県道渋川東吾妻線 槻木交差点 交差点改良 (東吾妻町)
- ・ 国道120号 大原交差点 交差点改良 (沼田市)

## ●交通人身事故対策 (自転車事故)

## 【自転車通行空間の確保】

高崎商業高校や中央中等教育学校の生徒が安心して自転車で通学できるよう、自転車の通行空間を整備します。

- ・ 県道井野停車場線 (高崎市)

## 【自転車安全教室の開催】

高校生の安全な自転車利用と自転車運転のマナー向上のため、自転車安全教室を毎年開催しています。

今年度は前橋高校、桐生工業高校、渋川工業高校で開催する予定です。

## ○今年度のトピックス

## 【H30年度完成予定】

- ・ 県道渋川大胡線 歩道整備 (前橋市富士見町小暮)
- ・ 県道津久田前橋停車場線 歩道整備 (前橋市北代田)
- ・ 県道伊勢崎上江田線 歩道整備 (伊勢崎市境伊与久)
- ・ 県道下仁田安中倉淵線 歩道整備 (安中市原町)
- ・ 県道足利邑楽行田線 歩道整備 (邑楽町中野)

(1) 移動を支援するバリアフリー化

誰もが安全で安心して移動できるよう、鉄道駅、路線バスや歩道等のバリアフリー化を推進します。

【ノンステップバス導入】

乗降口の段差がない乗りやすいバスの導入を促進します

ノンステップバス



【鉄道駅のバリアフリー化】

1日の平均利用者数が、3,000人以上の鉄道駅のバリアフリー化を促進します。

段差解消（エレベーター設置）



高齢者・障害者等対応トイレ



【歩道のバリアフリー化】

歩道と車道との段差をなくし、視覚障害者が車道との区別が認識できるように突起を設置します。

歩道の段差解消・視覚障害者誘導用ブロック設置



(2) 高齢者が居住する住宅のバリアフリー化

高齢者が安全で安心して暮らせる住まいを確保できるよう、住宅のバリアフリー化を支援します。

段差のない居室



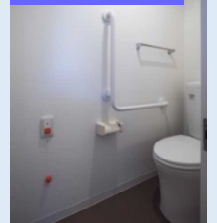
エレベーター、廊下の手すり



屋外スロープ



トイレの手すり



平成30年度

主要事業の概要

●移動を支援するバリアフリー化

【ノンステップバスの導入】

市町村やバス会社など、ノンステップバスの車両新規購入（7両）を支援します。  
（高崎市、多野藤岡広域組合、関越交通ほか）

【鉄道駅のバリアフリー化】

駅利用者が安全に上り下りができるように、駅舎建替に伴いスロープを設置します。  
・上信電鉄 上州七日市駅（富岡市）

誰もがいろいろな目的でトイレを利用できるように、多機能トイレを設置します。

・JR両毛線 前橋大島駅（前橋市）

【歩道バリアフリー化】

視覚障害者が安全に歩行できるように、歩道の段差解消を図ります。

・県道江口館林線 緑町工区（館林市）

視覚障害者が安全に歩行できるように、点字ブロックの補修を実施します。

・県道前橋館林線 前橋南工区（前橋市）

●高齢者が居住する住宅のバリアフリー化

【県営住宅のバリアフリー化】

広瀬第二県営住宅（前橋市） 中居県営住宅（高崎市） 中尾県営住宅（高崎市）



### 施策3

### 中核的医療施設へのアクセス向上

【予算額】 15,078,676 千円

県内の中核的医療施設へ30分でアクセスできる圏域内の人口は、約9割に到達しましたが、更なるアクセス性の向上に向け、7つの交通軸の主軸や強化路線の整備など、誰もが安心して医療を受けられる環境づくりを推進します。

中核的医療施設位置図



前橋赤十字病院アクセス道路（整備状況）



前橋赤十字病院

前橋玉村線バイパス

### 平成30年度 主要事業の概要

前橋赤十字病院は、災害拠点病院の中心となる群馬県唯一の「**基幹災害医療センター**」に指定されています。

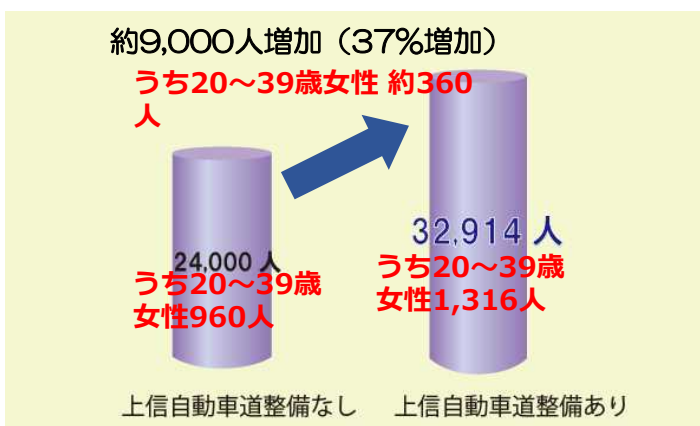
高速道路ICに直結する当バイパス道路の整備により、災害時の医療物資運搬・救護班派遣DMATなど・多数傷病者の受け入れ等の救命救急活動に大きく貢献します。

- ・ 県道前橋玉村線バイパス 朝倉工区（前橋赤十字病院アクセス道路）



上信自動車道の整備により、県立小児医療センターまでの所要時間が短縮します。県立小児医療センターまで1時間で到着する範囲は、新たに長野原町の中心部などが含まれることになり、60分圏域人口が9,000人増加します。

- ・ 上信自動車道（金井バイパス、川島バイパス ほか）



厳しい財政状況の中、社会資本の老朽化や劣化を原因とする事故を防ぎ、県民の安全・安心な生活を守るとともに、メンテナンスに係るトータルコストの中長期的な縮減、平準化を図るため、社会資本の戦略的な維持管理・更新を推進します。

施策 1

社会資本の長寿命化

【予算額】 9,365,397 千円

(1) 社会資本の戦略的な維持管理・更新

社会資本を長期にわたって安全に使用し続けるために、長寿命化計画に基づく戦略的な点検・維持管理・更新を実施し、維持管理・更新費用のトータルコストの中長期的な縮減と平準化を図ります。

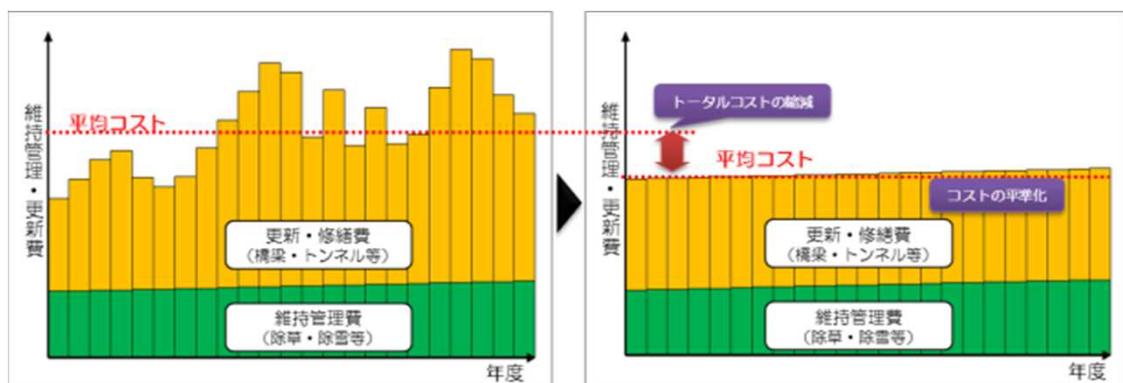
計画名称	策定年度	計画期間	対象施設	施設規模
群馬県道路施設長寿命化計画	H30 (予定)	30年間	横断歩道橋	120橋
			道路トンネル	64箇所
			舗装（自転車道を除く）	3,100km
			道路照明	10,000灯
			自転車道橋梁	32橋
			地下歩道	22箇所
			カルバート	24基
			防雪施設	63基
			防災施設（グラウンドアンカー工、落石防護工、落石予防工）	4,599箇所
			土工構造物 擁壁（路側及び土留） 法面（切土、法枠、コンクリート・モルタル吹付及び盛土）	5,658箇所
			張出歩道	380箇所
			門型標識	11箇所
			大型標識	3,373箇所
			情報板	163基
			消融雪施設	51箇所
			群馬県橋梁長寿命化計画	H28
河川構造物長寿命化計画	H28	40年間	排水機場	7施設
			水門・堰等	22施設
			県営ダム	7施設
群馬県砂防関係施設長寿命化計画	H29	50年間	砂防設備（砂防堰堤・床固・渓流保全工）	3,536施設
			地すべり防止施設	67区域
			急傾斜地崩壊防止施設	610区域
			雪崩防止施設	6箇所
都市公園長寿命化計画	H29	30年間	建築物	24施設
			遊具	10施設
下水道長寿命化計画	H23	50年間	下水道施設（県央・奥利根）	処理場2施設ほか
	H24	50年間	下水道施設（西邑楽・桐生）	処理場2施設ほか
群馬県営住宅長寿命化計画	H29	30年間	県営住宅	10,123戸
群馬ヘリポート長寿命化計画	H29	30年間	群馬ヘリポート	1施設

【トータルコストの縮減】

長寿命化計画に基づき、損傷がひどくなる前に、予防的な補修を計画的に実施し、施設の長寿命化を図ることで、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストを縮減することが可能となります。

【コストの平準化】

維持管理・更新に係る費用を計画的に投資していくため、年当たりのコストを平準化します。





● 社会資本の戦略的な維持管理・更新

戦略的な長寿命化対策のため、長寿命化計画に基づき、下記の施設の点検・維持管理更新を行います。

【道路橋】

- ・ 県道南新井前橋線 上毛大橋 (前橋市)
- ・ 県道佐野行田線 渡良瀬大橋 (館林市)
- ・ 国道299号 後山橋 (神流町)
- ・ 国道254号 金井橋 (甘楽町) ほか

【河川構造物】

- ・ 一級河川 泉野川 北調節池排水機場 (板倉町)
- ・ 大仁田ダム  
予備発電設備改良 (南牧村)
- ・ 坂本ダム  
利水放流バルブ機側操作盤改良 (安中市) ほか

【舗装】

- ・ 県道四ッ塚原之郷前橋線 前橋工区 (前橋市)
- ・ 県道下久屋渋川線 沼田工区 (沼田市)
- ・ 県道松井田中宿線 人見工区 (安中市)
- ・ 県道持柏木寄居線 北橋工区 (渋川市) ほか

【下水道施設】

- ・ 県央処理区 汚泥脱水機分解調査 (玉村町)
- ・ 桐生処理区 汚水ポンプ分解調査 (桐生市)
- ・ 西邑楽処理区 送風機分解調査 (千代田町) ほか

【砂防関係施設】

- ・ 利根川支川 粕川 (第8堰堤) 砂防堰堤補修 (前橋市)
- ・ 赤谷川支川 大峰沢 砂防堰堤補修 (みなかみ町)
- ・ 吾妻川支川 反下川 砂防堰堤補修 (中之条町) ほか

【県営住宅】

- ・ 広瀬第二県営住宅 住戸改善 (前橋市)
- ・ 中居県営住宅 住戸改善 (高崎市)
- ・ 中尾県営住宅 住戸改善 (高崎市) ほか

事業の効果



国道299号 後山橋 橋梁補修

橋の老朽化や劣化にともなう損傷により、道路を安全に通行できなくなる危険性があります。



計画的な修繕により、橋の長寿命化を図り、老朽化や劣化を原因とする事故を防ぎます。



広瀬第二県営住宅 住戸改善

老朽化により、居住者の安全・安心な住環境に支障が出てきました。



改修工事により、安全・安心に利用できる施設になります。



(1) 行政が実施する維持管理

道路パトロールや河川巡視などの日常点検を実施し、社会資本の異常箇所の早期発見に努めます。



(2) 地域住民が主体となった維持管理

自治会や学校など、地域の道路や河川等の愛護活動を実施している皆さんの活動を支援し、地域活動の活性化を図ります。



(3) 民間の力を活用した維持管理

公共施設の管理に民間の資金とノウハウを活用し、県民サービスの向上を図るとともに、維持管理コストの縮減等に取り組みます。

【指定管理者制度の導入】

県が管理する施設について、県が指定した民間事業者等が施設の管理主体として、公共施設の管理を代行する制度です。



【Park-PFIの導入検討】

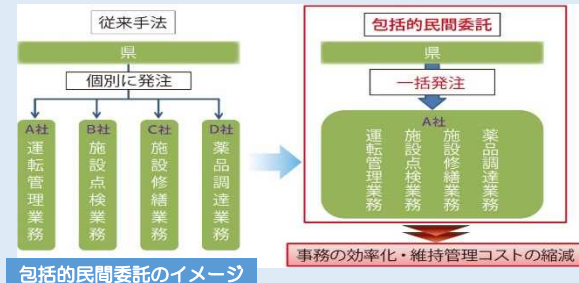
都市公園における新たなニーズに対応するため、従来の官民連携制度では困難であった、民間資金を活用した施設整備の実現に向け、「Park-PFI」の導入を検討します。



出典：国土交通省ホームページ

【包括的民間委託の導入】

施設の点検・修繕や運営管理などの業務を、包括的に委託することにより、受託した民間事業者が効率的な運営を図ります。



(4) 公営企業会計の適用

流域下水道事業においては、経営状況をより正確に把握しやすい公営企業会計を適用することにより安定的な県民サービスを提供します。

平成30年度 主要事業の概要

● 行政が実施する維持管理

道路・河川等の日常点検、道路・河川の除草や河川の堆積土除去等の年間を通じた適切な維持管理を適時適切に実施します。

● 地域住民が主体となった維持管理

河川除草等：自治会等河川草刈り作業委託事業により、自治会等335団体の除草を支援します。  
道路清掃・除草：春・秋の道路愛護運動により、自治会等1,621団体の除草を支援します。

● 民間の力を活用した県管理施設の効率的な維持管理

指定管理者制度の実施：県立都市公園、ヘリポートで実施します。  
(敷島公園・群馬の森・金山総合公園・観音山ファミリーパーク・多々良沼公園、群馬ヘリポート)

包括的民間委託の活用：施設の管理水準の向上、業務の効率化のため、4つの水質浄化センター（奥利根、県央、桐生、西邑楽）で包括的民間委託を活用します。

Park-PFIの導入検討：県立都市公園において導入検討を実施します。